

総務文教常任委員会

6 議案 可決

行田市公立学校設置条例の一部を改正する条例

問 学校再編成は、保護者をはじめ当事者が納得していることが重要と考えるが、再編成に当たり保護者からどのような意見があったのか。

答 子どもたちに多くの友達と付き合つことができる環境を作つてあげたい、との意見が多くあった。また、太田西小学校と太田東小学校の再編成を早期に実現してほしいという前向きな意見や、複式学級にしてほしくない、子ども

市政の運営方針や財務、税務、学校教育、社会教育に関することなどの議案等を審査しています。

たちの不安や保護者の負担を考慮してほしいとの意見もあった。

行田市立学校施設の利用に関する条例

問 改正により、新たに校庭使用料が規定されるが、学校の開放運営協議会により、地域のスポーツ団体等が学校施設を利用する場合は、引き続き無料となるのか。

答 学校の活動に支障のない範囲ではあるが、学校施設は、地域の方の身近なスポーツ・レクリエーションの場であることから、改正後も無料での使用を考えている。

令和4年度行田市一般会計予算

問 学校跡地活用検討事業

閉校となる北河原小学校及び須加小学校の新たな活用策の検討に当たり、地域のニーズや民間事業者による利活用の可能性を把握するため、住民アンケート調査やサウンディング調査を行うとのこと

だが、スケジュールはどのようになっているのか。

答 7月から8月頃に住民に対するアンケート調査、9月頃にサウンディング調査を行い市場性の把握、10月頃から地域住民との意見交換会の開催、年末頃に課題等を整理分析し、その後、学校ごとの個別活用計画をまとめていきたいと考える。

問 学校開校・閉校記念事業補助金

記念事業を実施するための費用として、1校当たり、開校は130万円、閉校は180万円を補助することのことであるが、その積算根拠は。

答 今年度の学校再編成で、開校に対し130万円、閉校に対し180万円の補助金を交付したことから、新年度もこれに倣っている。使途については、各学校の再編成準備委員会決定するが、開校では、校旗のように新たな学校に必要なもの、閉校では、記

念誌や閉校式典に要する経費などを見込んでいる。



星宮小学校閉校式

問 秩父鉄道整備促進協議会負担金

国・県及び沿線市町が連携し、秩父鉄道が行う安全対策事業費の一部を支援することであるが、令和4年度の事業費の負担割合は、どのようにになっているのか。

答 事業費の負担割合は、国が3分の1、地方が3分の1以内、その残りを秩父鉄道が負担することになっており、令和4年度では、国が1億3441万9千円、地方は、県と沿線市町の協議会が同額でそれぞれ5700万円、秩父鉄道が1億5483万8千円と聞いている。

問 ふるさとづくり事業補助金

ふるさとづくり事業のうち、A事業については過去2

件の実績しかないが、これを継続する理由は何か。

答 本事業の見直しに当たり、本市が日本遺産のまちであることをより一層打ち出していくべきと考えたこと、また、足袋蔵は、日本遺産の構成資産であるが、今、保存・活用しないと、消滅の可能性もあり、これらの維持・継続に力を注ぎたいと考えている。

問 中学校給食費無償化事業

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、実施することであるが、同交付金の活用と子育て支援策とを考えた場合、中学生だけにポイントを絞るのではなく、幅広く市民に行き渡るような施策を検討しなかったのか。

答 当初、給食費の無償化については、交付金の活用とは別に検討していたが、全庁的に交付金を活用した事業照会があり、教育委員会としても、給食費の無償化を含め、様々な提案を行った。全体としても多くの提案がなされ、最終的にどの事業に活用するか検討する中で、本事業が採用されたものである。



総務文教常任委員会委員